

令和 5 年 11 月 30 日

真庭市議会議長 小 田 康 文 様

令和 5 年度 真庭市議会市民と語る会実施報告書

報告者（班長） 氏 平 篤 正

開 催 日 時	令和 5 年 11 月 6 日（月） 19:00～21:00		
開 催 学 区 名	八束小学校		
会 場 名	原コミュニティハウス		
出 席 議 員	班 長 : 氏平篤正 副班長 : 岩本壯八 班 員 : 長尾修、森田敏久、吉原啓介、黒川愛		
参 加 人 数	19 人 （うち議員 6 人）		
発 言 の 種 類	発 言 の 内 容	対 応 の 内 容	備 考
要望	○空き家、耕作放棄地、人口減少対策として、移住・定住促進を。 ○移住者に地元環境が良く分かる人を紹介するような取り組みがあれば。 中和に行った移住者は、みんな幸せそう。	・真庭市でも移住促進を頑張っているが、地域の気質など伝えづらい部分がある。 ・中和は、職員 O B が中心になって、空き店舗に皆で集まって情報交換している。 ・移住について、大分県竹田市に視察に行った。市役所でマッチングしている。仕組みづくりを要望していきたい。 ・担当課に伝える。 （担当課からの回答） ・都市部へ出張、紙媒体、SNS、土日相談窓口など、幅広い PR 活動を行っている。「地域おこし協力隊」や「なりわい塾」参加も生まれ、移住につながっている。 ・移住者の住居は、空き家バンクを活用したサポートや各種補助事業を実施している。 ・交流定住センターで移住・定住促進や紹介・相談などに取り組んでいる。 ・各地域で、地域奨励団体の推進に取り組んでいる。	交流定住課へ伝える
要望	○空き家が多くなり、危険な家屋も多い。何とかならないか。	・市にはリフォーム補助金、家を買う時の補助金がある。壊す時の補助金もある。 ・空き家予防の 1 つとして、ハウスリースバックがある。元気な内に、不動産屋に売却。最初は家賃として払い、亡くなったら売却。行政がなかな	

		か出来ない部分もあるが、こういった事も情報共有が出来れば。 ・個人の持ち物なので、危険家屋になっても、取り壊しなどは、なかなか難しい部分がある。通学などで危ない場合は、自治会長を通じて要請を。 ・振興局で、なんでも案内してもらえ。危険な事は、都市住宅。移住は交流定住。市役所で聞いてもらえればと思う。	
要望	○農業を頑張るために、冬場に仕事を。夏場は山ほど仕事がある。 ○若者たちがスタートしやすいように、若者が地元で元気に暮らせるために、起業支援や、企業誘致を。 ○農業の担い手が減っている。出荷する人が減っている。頑張っている方々に声掛けをしている。 ○農地が荒れ、耕作放棄地も多い。対策を。	・検討すべき課題。担当課へ伝える。 ・耕作放棄地が進むと、水路の問題もある。市も問題意識があり、取り組まないといけないと思う。 ・早生樹を植えるなどの、社会実験もやっている。 (担当課からの回答) ・農家に出向いていく事業を進めている。 ・蒜山だけではなく、農地として守っていくところをゾーニングして取り組んでいる。 ・手がかからず、鳥獣が嫌がる作物栽培（洋唐辛子など）に取り組んでいる。	農業振興課へ伝える
意見	○猪が走り回っている。鹿もみた。皮をはぎ、大きな穴をあけて困っている。	・有害鳥獣に、市は年間 1 億円。私たちごっこの状態。国も問題意識がある。	
要望	○自転車通と交通マナーについて落葉取りをして欲しい。自転車道の除雪をして欲しい。ライトを点ける、スピードを出さないなど、交通マナーを守って欲しい。	・安全管理は、建設課が窓口。自転車道は県の管理。自転車道は全長 30 キロ。私たちも要望しているが、実態として、優先が下がっている。 ・交通マナーについては、蒜山だけではなく、岡山全体が悪い。事業所も指導すべき課題。県外ナンバーの事故も多い。交通マナーは担当課に伝える。 (担当課からの回答) ・交通安全対策協議会や警察、事業所とも連携しながら、交通安全に取り組む。	くらし安全課へ伝える

要望	○資源の発掘について グリーンابلでは他所からのイベントが多い。地元の良い人もいっぱいいる。もっと地元の人に何かしてもらえるように。	・真庭市は、資源が多い。人的なものの含め、もっと活用が出来る。 ・自治会でもっと意見を言ったり、地域で意見交換が出来ればと思う。地元の人が有効に使う事は大切。担当課に伝える。 (担当課からの回答) ・地元の人が有効に使えるような、利用のPRなどにも取り組む。	蒜山振興局へ伝える
提案	○まにこいんについて 応援クーポンもあったが、年寄り夫婦で登録のしようもない。クーポンであげたら良い。	・仰る通り。皆がスマホを持っているわけでない。1つのきっかけとしてやっている。不平等の部分もある。次回またあると思うので、参考にさせてもらう。	
要望	○障がいを持つ子どもたちが通える養護学校を考えてほしい。 父も母も日々送る事で精一杯。 蒜山には慶光園もあり、湯原には旭川荘もある。知識を持っている人もいる。なぜ着手しないのか。 10人くらいが地域外の学校に行ってる。 山を越えて、米子や倉吉に行く人もいる。蒜山は末端で、市になって、何が良い事があるだろうかと思う。 自然環境が良い中で、安心して生きて欲しい。蒜山がそういう場所であってほしい。もうひと踏ん張り頑張れば、なんとかかなるのではと思う。 市議の皆さんの力を借りたい。	・10人だと少人数学校になる。もっと多くの友達がいる学校に通わせたい保護者もいる。 ・みんなで同じ学校に通えるよう、医療的ケア児について、一生懸命取り組んでいる議員もいる。 ・親が大変なのは、学校に限らないと思う。いろいろな生活面も含め、負担が少しでも減るような支援が出来ていけばと思う。 ・倉吉の学校は、鳥取県立なので、倉吉の方と粘り強く交渉していきたい。 ・担当課に伝える。 (担当課からの回答) ・過去には、真庭市で誕生寺支援学校のサテライト校設置について、岡山県とも話をしている。人数の推計からも、人数が少なく、話が進まなかった。	教育委員会、福祉課、子育て支援課へ伝える
質問	○夜の交通手段がない。 ホテルが出来たが、夜のタクシーがない。まにわくんの夜便や、ライドシェアの考え方は。	・タクシー2社あったが、今は1社。夜はやっていない。 ・ライドシェアは、国会で議論中。白タク問題もある。 ・美甘では、地域の人が、その人の車を運転して、移動する仕組みがある。	
要望	○保育園問題。保育園が古い。 休日に預けるところがない。 学童も入れない。保育環境整備を。 ベビーシッターサービスはトラブルも多い。 選択肢を増やして欲しい。	・保育環境の整備は重要、取り組んでいきたいと思う。要望は担当課に伝える。 (担当課からの回答) ・サービス業が多い地域など、課題である。建設から年数が経っているところもある。まだまだ充実が必要だと思うので、取り組んでいきたい。	子育て支援課へ伝える

要望	○公園に遊具がない。2カ所も撤去したまま。遊具を設置して欲しい。 真庭市は、都市部に比べて、公園が圧倒的に少ない。遊具が欲しい。一番削っては、いけないところ。	・一般質問の答えが、遊具ではなく、自然の中で遊ばせるというのが市の方針。 ・勝山では地域のお母さん方が公園づくりを要望して、いま、進んでいる。 ・担当課に伝える。 (担当課からの回答) ・今のところ、遊具の設置予定はない。	蒜山振興局 へ伝える
質問	○ゴミセンターについて。北部の施設はどうなるのか。	・焼却施設は、集約される。 持込場所は無くなる予定。	
質問	○太陽光発電は蒜山には出来ないのか。 ○農地に関してはどうか。	・蒜山では、太陽光発電が出来ないように、広い地域でアミをかけている。地元の同意がいる事になっている。 ・農業委員会で農地はやめようとなっている。 ・家の屋根は規制が出来ない。	
意見	○蒜山インターは、切り開いた山や四角いホテルなど、景観がとても悪い。蒜山の玄関口なのに、ファーストコンタクトは最悪。	・ホテルは経済行為で、今の制度だと、規制がない。 ・建物の高さや、派手さについては蒜山全体の景観条例がある。 ・別荘ブームの乱開発防止などもある。国立公園の敷地内は規制がある。 ・個人の山に道をつけるのは仕方ない。	
質問	○造成地の下に田んぼがある。大雨が降って、木が倒れて、田んぼが出来にくくなった。 ○大雨の新たな基準はあるのか。	・造成開発について、よそに比べて、蒜山は一定のルールがある。委員会などで、現地視察もする。 ・河川は、県の範囲になる。浚渫しないとイケない所は、県に要望して欲しい。 ・大雨の新たな基準は、今のところ、聞いていない。	
要望	○河ざらえ、川と道の高さが同じ。カヤ、ヨシの対策を。しっかりと柳もあって、困る。	・河川は県の管理になる。県に要望して欲しい。	

令和 5 年 11 月 30 日

真庭市議会議長 小 田 康 文 様

令和 5 年度 真庭市議会市民と語る会実施報告書

報告者（班長） 氏 平 篤 正

開 催 日 時	令和 5 年 11 月 11 日（土） 10:00～12:00		
開 催 学 区 名	木山小学校		
会 場 名	落合人権・福祉センター		
出 席 議 員	班 長 : 氏平篤正 副班長 : 岩本壯八 班 員 : 長尾修、森田敏久、吉原啓介、黒川愛		
参 加 人 数	14 人 （うち議員 6 人）		
発 言 の 種 類	発 言 の 内 容	対 応 の 内 容	備 考
質 問	○地域間競争と言われ、自治体の存続に重きが置かれている。真庭市は勝ち組のイメージもあるかもしれないが、市民に幸福感は無いように思う。市民と自治体の在り方を各議員に聞きたい。	・人口減少対策 ・社会的弱者の支援と経済発展 ・人口集中問題 ・勝ち組とっていない。市は補助金獲得を優先している。 ・話し合って地域課題を解決するしかない。 ・それぞれの地域の特徴を出す。	
意 見	○まにこいん 高齢者に分かりくいのでは。 ○限定的では。	・他の会場でも意見が出た。執行部に伝える。出来るだけ、使われる方が有利に使えるよう、執行部に提言していく。 ・中銀でも OK になった。	
質 問	○部活動の地域指導者について、どうなるのか。先生方が激務。月水は定期で、これ以上出来るか分からない。資格が要るものもある。地域指導者への負担が大きい。	・経費、専門性、学校連携など色々な課題がある。真庭全体で助け合いたい。 ・国の方向も注視し、議会でも議論をしていく。 ・指導者資格を取る時に、レポートの提出もある。技術だけでなく、人格的な事も求められる。	
質 問	○備中川の河川改修進捗状況は。分かる範囲で。今している工事は、道路工事が建前。工事中に井堰が流れたので、もとに戻す。大金をかけて変な事をしていると地元の人は言っている。	・河川は県の管轄で、県からのスケジュールがある。 ・備中川に関しては、周囲を整備する時に、合わせてやっている印象がある。	
意 見	○河川の安全と環境への配慮について。生物多様性が失われるのは、寂しい。	・環境配慮については、安全とのバーターになる部分もある。工事で生態系が変わる。何を優先するかという時には、人命優先、安全優先はやむを得ない部分もある。 ・県がどの程度、環境に配慮するのかは、声を上げなければいけないところもある。上げて頂ければ、一緒になって取り組んでいく。	

質 問	○斜面の草刈りはどこがするのか。県は国道下 1 m 程しか刈らない。 鹿田の国道沿い。下は川。市の管理河川。住民会で問題になっている。	・市の管理になっているけれど、実際には市は出来ない。ボランティアの範囲でやっていくしかない。県のアダプト事業も出来ていない所が多い。	
質 問	○農道について 市が作ってくれる事になったが、知らない間に進んでいる。おかしい。市議会に通っているのでは。	・議会にかけられるのは、市道になるかどうかのみで、経緯はない。後で場所を教えて欲しい。建設課に伝える。 ・地域として、市道に上げて欲しいが、我慢している道も多くある。 ・市道認定は、ルールを決め、点数で優先順位を付け、行っている。 (場所について) ・図面で場所を確認した。 (担当課からの回答) ・建設課で対応中。再度、当事者にも会う。	建設課に伝える
質 問	○人・農地プランの進行状況は。 農地の集積は進んでいるか。 耕作放棄地が目立つ。	・具体的には、申し上げられないが、進めていかないといけない。 ・何でも人材不足で片付けてはならないが、何でも農業振興課で行っているのが現状。方向性として、農業振興課がサポートし、農業公社の拡張機能という事になってくと思う。	
提 案	○ダウンサイジングが必要では。 国全体で人口減少。市長がいろんな仕事を取り、新しい事をしている。新しい事をしたら、何かを止めるという仕組みがないと、組織も人も疲弊する。 市役所もそう見えるところがある。最終的には市長が判断する事だろうが、議会として何か出来る事があれば。	・スクラップ&ビルドをしている。 ・コンパクトシティとは反対。小さな拠点づくりに力をいれている。 ・身の丈にあった施設の配置、統廃合は大きな課題。 ・地域の特性を活かした地域振興が、市の目指す方向。	
意 見	○市職員について、市行政の一環としている事業にも参加しない方がいる。いかなものか。衛生協議会の地域清掃など。	・地域活動に出ないのは、職員だけではない問題。 ・昔は参加するのが当たり前だった部分もあるが、今は違う。 ・意見は担当課に伝える。 (担当課からの回答) ・地域活動に参加しようと、太田市長が理事会で話している。	総務課に伝える

意見	○議員定数について。 人口比では、定数が多すぎるのでは。適正定数とは言えない。減らす必要があるのでは。痛みは共にわかちあうべき。 ○市民の投票行動にも問題がある。地域代表として、議員を選出し、昔からの選挙をしている。定数を減らして、報酬を増やしても良い。	・特別委員会を設置し、人口と面積から検討した。 ・急に減らすと、議員不在の地域が一気に出る。来年の予想人口と合わせ、22人にした。人口が減ると、また見直しになると思う。 ・今の議会は、グローバルに考えてる議員も多い。	
意見	○自治会、自治会長に負担を強いてる。 防災や、話をまとめないといけない事など。 同世代は、皆、他でも働いている。労働力不足は、他の企業でも同じ。	・個別の課題も色々ある。議員の立場としては、情報収集しながら、地域の状況を執行部に伝える。	
意見	○合意形成が大切。 地域のつながりをカバーしていく。放棄してはいけない。 地域に仕事が下りてきて、地域に丸投げという悪循環。落合の街なかでもある。	・自分も田舎に住んでいるので、よく分かる。難しい問題。 ・ご理解して、協力してもらえれば、ありがたい。	

令和 5 年 11 月 30 日

真庭市議会議長 小 田 康 文 様

令和 5 年度 真庭市議会市民と語る会実施報告書

報告者（班長） 氏 平 篤 正

開 催 日 時	令和 5 年 11 月 15 日（水） 19:00～21:30		
開 催 学 区 名	余野小学校		
会 場 名	高仙の里よの		
出 席 議 員	班 長 : 氏平篤正 副班長 : 岩本壯八 班 員 : 長尾修、森田敏久、吉原啓介、黒川愛		
参 加 人 数	23 人 (うち議員 6 人)		
発 言 の 種 類	発 言 の 内 容	対 応 の 内 容	備 考
要 望	○市の業務時間は毎日 17 時 15 分まで。 鏡野や津山は夜 19 時までの日もある。そういった事は考えられないか。	・市の条例に基づいてやっている。これまでも、職員組合と話し、休憩時間を無くしたりしてきた。 ・意見は担当課へ伝える。 (担当課からの回答) ・今のところ、時間延長の話は出ていない。	総務課へ伝える
要 望	○余野上・下で、消防が 1 つになった。寄合いの時、機庫に入りきらない。駐車スペースもなく、危ない。 議員から危機管理課に直接動くなど、力になって欲しい。	・基本的に、余野全体から消防本部へ、その後、消防委員会で諮り、O K が出れば予算が付く。 ・議員が危機管理課へ直接動くのは、公平性の面でちょっと出来ない。 ・担当課へ伝える。 (担当課からの回答) ・地域の集会所等の利用をご検討ください。	危機管理室へ伝える
意 見	○大阪か神戸から、「今度、余野を見に来る」と、突然電話があった。土地も地主と約束しているらしい。 議員も一緒になって考えて下さい。	・美甘や中和でも、地域の方が移住受入をしている。 ・家はリースバック方式もある。改修費や片づけの補助金もある。 ・交流定住センターが、移住の世話をしている。	
質 問	○真庭市の人口を増やすためには？ 各議員に聞きたい。	・移住支援 ・子育て支援 x 2 人 ・高校の魅力化 ・デジタル商店街など真庭市独自の取り組み ・郷育	

質 問	○仕事、住居、子どもの育てやすさなど。真庭市の子育て支援策は？ ○子育て支援で、住宅支援を。	・充分ではないと思っているが、市も一生懸命している。例えば、今年度から、産前産後のサポートなどが充実した。必要な支援を訴える事で、少しずつ充実していくと思う。 ・必要だと思う。担当課に伝える。 (担当課からの回答) ・問題意識を持っている。内部連携を強め、取り組んでいく。	子育て支援課へ伝える
質 問	○旧小学校地、体育館の撤去はどのような方向で進めるのか。 いつまで経っても、撤去しない。 ○大津神社の景観が悪い。	・解体すると言って、約束を守らないのは理由があると思う。 ・担当課で調べる。 (担当課からの回答) ・体育館内に古い資料等を置いている。来年度は予定していないが、できるだけ早く撤去する。	スポーツ文化振興課・教育総務課へ伝える
質 問	○真庭市の高校は、今後どうなるのか。	・デリケートな部分もあるので、我々の口から無責任な事は言えない。 ・高校の魅力化は真庭市の課題。	
そ の 他	○小学校のコーディネート報酬	・質問者早退した。	
要 望	○スクールバスがない。 ○高齢者も一緒に移動できる方法はないか。 ○要望すれば、何とかできるのか。	・スクールバスと高齢者の一緒にの移動は難しい。 ・スクールバスが欲しいという要望が市役所に届いていない。要望があれば、実現するかもしれない。 ・美甘中の場合も、議員が知らない間に、美甘の人が勝山へ通学すると決めた。 ・地元の強い力があれば、可能と思う。余野が1つにならないと難しい。真庭の中で、久世だけバスがない。	
意 見	○公共交通が少ない。ほとんどない。 まにわくん、へき地の高齢者の通院や買物など、どう考えているか。 買物弱者及び行商の方の採算が合うように、行政には協力して欲しい。 ○チョイソコでは、厳しいところもあるのでは。 ○チョイソコは不便。	・広大な地域交通をどうするのか、担当課の生活環境部で考えましょうというのは簡単。 ・財政は全部真庭市負担。どこまで維持ができるか。津田や二川は、住民でやっている。 ・チョイソコは、先進地視察に行ったが、「健康のため、お年寄りを家から出そう」から始まっている。	
質 問	○鏡野の風力発電施設建設について。 「反対」などの看板を見るが、どうなっているのか。いつから工事が始まるのか。	・11月の議会広報紙にもあるが、現在計画中で、全長180m、羽根130m、最大25基の予定。富・羽出地域の山に並ぶ。鳥取の海岸沿いのものより大きい。反対している人もいる。再来年に工事開始予定。	

質 問	○久世体育館周辺の開発について。 久世生き生きサロンがなくなると聞いたが、どうなるのか。	・場所は、北町公園内でつくと、議会答弁があった。	
質 問	○高齢者の振込詐欺が増加。 真庭の現状は。市長は大変多くなっていると言っていた。 議会としてのＰＲは。 助け合いも必要。	・「知らない番号は取らない」「録音する装置」などの策もあるが、撃退策を考えないといけない。 ・相談しながら、予防していくしかない。	
意 見	○獣害被害が多い。特に鹿。有効な対策がない。 狩猟しているが、大変。だんだん利口になってる。だまし合い。根本的に考えないといけない。	・市で１億円。サルの檻も、また予算を組んでやっていく。 ・金額的に、国では鹿が一番。市も予算を組んでいるが、数は減っているという実感がない。	
質 問	○農地の荒廃防止対策は。 ○現役世代が居なくなったら後は厳しい。農業後継者の育成を。	・真庭だけでなく、全国的な問題。 ・付加価値がある物を作るなど、課題提起していく。決定的な策はない。皆で考えてやっていかないとけない。 ・吉ではＲＭＯ（農村型地域運営組織）を運営し、実証実験中。	
意 見	○冬期の県道の除雪は。 鏡野線のほうが圧倒的に早い。 ○除雪作業が遅い。	・おっしゃる事は十分に分かる。蒜山は組合がやっていて、この辺りは業者に出しているかと思う。若い人と熟練の差もある。ルールを決めて、交代で除雪をする地域もある。独居からの相談もある。業者によって違う。 ・苦情や課題は、本庁建設課にぜひ言って欲しい。	
そ の 他	○高仙の里よの 設備の老朽化への対応は。	・質問者早退した。	
要 望	○見通しが悪いので木を切って欲しい。危ない。県に言ったら、枝だけ切った。元から数本切ってもらえればと思う。 人の土地ではなく、土手から出てる木。場所は西浦、余野の下。	・場所を教えてください。 ・担当課に伝える。 （場所） ・地図で確認した。 （担当課からの回答） ・現地を確認し、必要に応じて県に要望する。	建設課へ伝える
そ の 他	○県道拡幅 目木から余野	・質問者早退した。	
意 見	○小学校を使うのに、なぜお金が必要か。 ○公平性と言うが、我々は負担金を出している。 ○高仙の里の使用料が全額になったのはなぜか。	・旧町村時代、どこも小学校は無料だった。Ｈ２７から、法律に基づき、不公平が生じないよう有料とした。子どものために、ＰＴＡなどは無料。 ・負担金か寄付金か、担当課で調べる。 （担当課からの回答） 旧久世町時代に、負担金は頂いておらず、寄付金である。	スポーツ文化振興課・教育委員会で調べる

	○余野の施設について	・小泉首相の時に、民間が出来るものは民間でという事で、指定管理者制度が出来た。 昔は協議会の独立採算制だったので、協議会が使う時は、半額だった。	
質 問	○高仙遊歩道の整備はどうなっているのか。指定管理外か。 市の管理と、指定管理で切り離している。森林組合が遊歩道の整備をしていた。施設とは切り離れている。地元管理のようになっている。第三セクターが入って、なくなった。	・担当課で調べる。 (担当課からの回答) ・指定管理は施設のみで、遊歩道は入っていない。	スポーツ文化振興課・交流定住課で調べる
意 見	○市民と語る会の撮影について。 チラシ案内に、記録撮影が入る旨が書かれている。了承して参加するという事だと思うが、写りたくない人もいる。映像で残す必要があるのか。 (この会はM I T が取材に来ていた)	・できるだけ顔が映らないよう意識している。 ・絶対映りたくない人はいるか。(→特にいなかった)	
意 見	○議員には、議会でイエスマンだけにはなって欲しくない。 ○市民と語る会でつながったものは、あるか。聞くだけではいけない。 ○蒜山のグリーンブルも、要らないという人がいた。	・イエスマンにならないよう、頑張っているつもりではある。市長と議論できるよう、研鑽を積む。 ・政策提言できる議会を目指し、このような場を持っている。課題要望が出てくるので、議員間討議を行い、議員の総意で取り組んでいこうとしている。批判やチェックも大事だが、政策提言できるよう目指している。 ・蒜山の話は、そういう話もある。最初批判もあったが、地元の人も少しずつ変わってきたところもある。これまで来られなかった若い人や女性客も来ている。	
意 見	○真庭市は他の市よりも進んでいると思うが、市民とかけ離れ過ぎている。 まにこいんなど、飛騨高山とは、人口も観光客も違う。「誰も取り残さない」という事になっていない。 小さい店にとっても、よくない事がある。	・まにこいんは、いろんな議員が一般質問している。かけ離れている部分を、どうしていくのが課題。 ・まにこいんは経済循環の部分もある。	
意 見	○自治会におろす事が多すぎる。今は女性も仕事を持ち、共働き家庭が多い。 地域の委員も見直すべき時では。	・他の地域でも出た。検討課題である。	
意 見	○職員の前例踏襲の打破が必要。	・残念ながら、市の職員の業務の内容については、直接何かできる立場にはない。	
質 問	○市長と話そう会の選定について。	・振興局が選ぶ場合もある、本庁が選ぶ場合もある。色々な方法がある。公募もしている。	

そ の 他	○市の職員の能力 ○介護保険 ○真庭市の補助金 ○情報発信 ○直売所の販売 ○経済活動 について	・別途、用紙でご意見・検討事項を頂いたので、トピックだけお伝えする。 ・担当課に伝える。	各担当課へ伝える
-------	---	---	----------